

低コスト林業の現地検討会を行いました

広島北部森林管理署では、これまで効果的な路網の整備などの課題について、民有林関係者との連携を図りながら、取り組んできました。特に、低コスト林業については、下列の省略や路網整備などをテーマとして重点的に取り組んできましたが、9月2日には、先進造林機械による下列作業の労働軽減についての現地検討会を行いました。検討会には、広島県、市町の林務担当者、森林組合、林業事業者などから総勢80名の参加がありました。下列、植付などの育林分野における林業従事者は、長期的に減少傾向にあります。今後主伐・再造林が多くを占める現状を踏まえると、下列作業など過酷な労働環境の改善も低コスト林業を進める上では、避けて通れない課題です。広島北部森林管理署では、様々な課題解決に向けた取組を展開していきます。



現地検討会の様子



説明に聞き入る参加者



先進造林機械に試乗する参加者



先進造林機械のデモ運転

より効果的な森林環境教育の提供に向けて

広島北部森林管理署では、令和元年度から庄原実業高校環境工学学科の生徒に対し、専門教科を補完する分野についての森林環境教育(出前講座)を行っています。今年度に入り、既に1学期の森林環境教育(2、3年生)を終えていますが、2学期3年生への森林環境教育では、事業地見学を計画しています。森林・林業を学んでいても、現場での作業や高性能林業機械に接する機会がないことから、実際に高性能林業機械3台を事業地(国有林内)に搬入させ、生徒の目の前で造材・運材作業を行うこととしています。10月の森林環境教育を前に、9月18日広島北部森林管理署と広島県森林組合連合会では、どのようにして高性能林業機械を動かし作業するのか、生徒の安全確保など、いくつかの点について確認し、当日には、より安全で効果的な森林環境教育を提供します。



様々な点を確認



明現山園有林



明現山園有林



作業時の安全を確認

公益的機能増進協定に基づく森林整備について

広島北部森林管理署では、平成30年度に寄倉山園有林に隣接する民有林(0.79 ㊦)と、森林のもつ公益的機能の維持増進を目的とした協定を締結し、平成30年度に国有林と隣接民有林の森林整備(間伐)を一体的に行いました。また、森林整備後の民有林の公益的機能の維持向上状況を測る指標として、毎年度、林床の植生調査を行っており、令和2年度の植生調査を8月に行いました。その結果、1箇所目の標準地では、木本類が昨年度に比べて4種増え11種となり、草本類が25種(昨年度20種)確認できました。更に、2箇所目の標準地では、木本類が11種(昨年度8種)、草本類が21種(昨年度13種)確認できました。森林整備後時間の経過とともに確実に林床植生は豊かになっており、公益的機能が維持され向上していることが分かりました。



森林整備後(H29年度)



林床の植生状況(R2.8)



森林整備後(H30年度)



林床の植生状況(R2.8)



近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
TEL:0824-62-2155/FAX:0824-62-2156
〒728-0012 広島県三次市十日市中2-5-19

